

網走桂陽高校で意見交換会を実施しました

市民に開かれた議会を目指して、網走市議会では、2013年から市民向けの議会報告会や意見交換会をこれまで計9回開催しています。

今回は、将来のまちづくりの担い手となる若い世代の意向を政策に積極的に反映するため、8月25日、26日の2日間で網走市議会議員12名が、網走桂陽高校の生徒3年生112名と「選挙に行こう！」をテーマに意見を交わしました。

新型コロナウイルス感染症がまん延していたことから、2日間に分けて、広い会場で開催するなど、万全の対策で臨みました。

前段では、地方議会が担っている役割や選挙の意義について、議会側から説明。後半は、参政権年齢が18歳に引き下げられたことを受け、「どんな選挙なら若い人が積極的に投票へ行くか」という視点で議員と生徒が意見を交わしました。

生徒からは「自宅でオンラインでの投票」「投票に行くと商品券やお菓子などがもらえる」「コンビニやスーパーなどで投票ができる」「投票しない人にペナルティを与える」など多くのアイデアや意見が出されました。